

あきたスギッチファンド通信



No.2 2010年2月10日発行

特定非営利活動法人
あきたスギッチファンド

TEL 018-839-8941

FAX 018-829-5803

E-mail : madoguchi@sugicchi-fund.jp

特定非営利活動法人あきたスギッチファンドは1月27日設立1周年を迎えました。この1年、設立総会の意気込み、熱気を心に留めながら活動して参りました。

“スギッチファンド”と言ってもなかなかその趣旨が理解されないとか、NPOになぜ支援しなければならないかという声も多く、思うようにファンドの資金額は増えませんでした。

ファンドは寄付金が予算額347万円に対して実績267万円、会費収入が予算額76万円に対して実績は47万円と苦戦を強いられています。景気低迷のため、企業からの寄付は思うようにひろがっていませんが、個人からの寄付者が多く、応援して頂いていると実感しております。

2009年7月15日に第1回の公開審査会と選考委員会を行い、助成先17団体を決定しました。2010年2月7日には第2回公開審査会と選考委員会を行い、助成先10団体を決定しました。助成を受けた各団体がスギッチファンドからの助成ならではの活動を実施し、それがスギッチファンドの発展に繋がるという良い循環が構築されることを期待しております。

ファンドの状況（2月7日現在）

寄付者（団体）	74人	1,772,296円
寄付者（個人）	307人	903,500円
寄付金合計	381人	2,675,796円
会員（団体）	28人	140,000円
会員（個人）	101人	303,000円
会員（特別）	11人	33,000円
会員数合計	140人	476,000円
ファンド総額	3,151,796円	

ファンドの事業はこれからも継続して参ります。来年度もどうぞご支援をお願い申し上げます。

2009年度 第2回助成先決定

第2回の助成事業は、皆様から頂いたご寄付を原資として、本ファンドの10万円コース5件、30万円コース2件、分野指定ファンドの10万円コース3件を12月7日から募集しました。1月7日の締め切りまでに10万円コースに20件、30万円コースに13件、分野指定に3件の応募が寄せられました。

2月7日の選考委員会は白熱した議論で選考は難航し、午後4時近くになってやっと助成先の発表に漕ぎ着けることができました。



助成先一覧

本ファンド10万円コース

応募総数20件の中から書類審査で5件に決定。

団体名	事業名、事業概要
不思議の国のアリス in Akita	高次脳機能障害当事者会開催事業 高次脳機能障害の当事者と家族が月1回会合を開き、調理実習をはじめ、野外活動や陶芸制作を行い、交流する。
特定非営利活動法人 コミュニティーセンター華工房	知的障害者施設における作業療法 知的障害者の作業療法として、職業用ミシンを購入し、Tシャツにアップリケを施して販売する。
NPO 法人 フラワーデザイン普及協会	ライス・ヌーヴォー2010 鑑賞用稲を使った展示会と米の加工分野の商品展示・広報を通して、消費のバリエーションを広げる。
北部グリーンエコ	不法投棄撲滅大作戦 土曜または日曜に市内をパトロールし不法投棄されたものを回収。不法投棄防止の立看板設置も行う。
あけぼの秋田	「第26回母の日キャンペーン」 乳がん検診受診を呼び掛ける母の日キャンペーンの実施とそのためチャリ作成・配布。関係機関への呼びかけや連絡・打ち合わせ。

本ファンド30万円コース

応募総数13件の中から書類審査で6件を選出、公開審査を経て2件に決定。

団体名	事業名
サークル山鳩	知的障がい者との交流事業及び自立支援事業 地元の知的障がい者を雇用し、胡桃の殻で「足つぼマッサージ」用具を作り販売する。チャリも1万部作成し配布する。
mottoわか杉ネットワークあきた	イベントボランティアサポート事業 秋田わかすぎ国体においてボランティアサポートを行った有志でイベントボランティア活動の支援を目的に会を結成したが、会員がより活発に活動できるよう、情報提供、連絡体制整備を図る。

分野指定ファンド 自殺予防活動 10万円コース

自殺予防活動分野を指定して秋田人変身力会議（会長荒谷紘毅氏）様から頂いた寄付36万2千円を核とし、募金活動等も実施して、分野指定ファンド10万円コース3件を構築した。募集3件に対して、3件の応募があり、書類審査で3件に決定。

団体名	事業名
精神保健福祉ボランティア 「れもんの会」	自殺予防電話相談事業 北秋田市の地域交流センターを拠点に、悩みごとを抱えながら出向いて来られない人に、無料で電話相談を受けられるようにする。
ハッピーネット 潟上市自殺予防推進連絡会	いのちの電話 キャンペーン事業 街頭キャンペーンを5回行い、自殺予防の啓発を行う。電話相談も行う。
精神保健福祉ボランティア・グループあおさぎ	心の健康づくり、自殺予防講演会 男鹿市を中心に、地域の自殺問題に取り組む。

あきたスギッチファンド通信 No.2 をお届けします。皆様のご支援を頂きながら、2回目の助成事業を実施することができました。新しい年度に向けてまた新たな戦略を練り、前進していきたいものと考えております。（営）